



# 市の予算

平成26年度

市議会2月定例会において、平成26年度当初予算が原案どおり可決されました。一般会計、特別会計および企業会計予算の総額は、785億3423万円で、前年度と比較し67億7332万円、9.4%の増となりました。健全な財政運営を念頭に、総合計画後期基本計画のスタートの1年として、将来のまちの設計図「人と産業・文化の交流拠点水と緑の健康都市島田」の実現に向け、新体制による初の当初予算。市の新たなまちづくりが本格稼働します。

問 財政課 ☎ 36・7123



広報しまだ

Shimada



目次 — CONTENTS —

- 2 平成26年度市の予算
- 8 本庁舎事務室の配置変更
- 10 まちの話だい
- 12 しまだ情報：国保の自己負担割合変更 / 太陽光発電システム設置費助成金 / 防火管理新規資格講習など
- 17 市政あらかると
- 18 スクスク子育て
- 19 友好のかけはし
- 20 図書館だより
- 21 スポーツINFO
- 22 暮らしのシグナル
- 23 文化課通信
- 24 けんこうナビ (5月)
- 28 便利帳 / 彩りもう一品
- 30 掲示板 / みんなのひろば / ソラマメ
- 32 しまだ人：松浦五百子さん・松浦達夫さん

表紙 — COVER STORY —

プラザおおるりで島田児童合唱団「カナリヤ」創立25周年記念コンサートが開催されました。



# 市民の

# 手の中にこそ

# 市政がある



島田市長 染谷絹代

## 市長施政方針

### 【将来のまちの設計図】

平成25年度は、総合計画前期基本計画の最終年であり、また後期基本計画策定の年でもありました。市政を取り巻く環境がめまぐるしく変化を続ける中、市の最上位計画としてこれに迅速・的確に対応していくため、5年間の計画期間を、平成26年度から平成29年度までの4年間と短縮しました。基本計画は、市が目指す将来像「人と産業・文化の交流拠点 水と緑の健康都市島田」の実現のための「将来のまちの設計図」です。この設計図に沿って施策を展開し、諸事業を実施すること、理想とするまちの姿が見えてきます。

後期基本計画では、市の将来を展望する中で、新たな施策や事業を積極的に位置付けました。自治基本条例の制定、公共施設白書の作成、新最終処分場の検討などの新規事業は、どれもまちの将来にとって、欠かすことのできない取り組みです。

また、市の未来を担う子どもたちへの教育の充実も欠かせません。現在整

備中の川根小学校および川根図書館、学校給食共同調理場などの施設整備に加え、小中学校校舎などについても順次更新を進めていきます。

さらに、弱者対策も必要かつ重要な施策です。一例として、移動手段を持たない交通弱者のためのコミュニティバスの運行があります。日常生活における利便性を確保するため、地域公共交通の再検討について計画に盛り込みました。

### 【幸福度と満足度の向上へ】

本年度の市政運営にあたり、これまでも増して「安全・安心の確保」に重点を置いていきます。安全・安心は生活の基盤です。「安全・安心実感都市の創造」に向け、次の3つの取り組みを重点的に推進していきます。

#### ①子ども・子育て支援

地域の結びつきが希薄になり、子どもを産み育てることが難しい時代となつていきます。未来の島田市を託す命を安心して産み育ていくため、子ども・子育て環境の整備・充実が強く求められています。このため、行政組織の強化や「子育てコンシェルジュ」の

新規配置、子育て世代への多彩な支援策を講じることで、島田市をどこよりも「ママが住みたくなるまち」に押し上げていきます。

#### ②防災・減災

東日本大震災から3年が経過しましたが、この試練から得た多くの教訓を生かさなければなりません。また、地震や風水害などの自然災害にとどまらず、新型感染症や原子力災害など、さまざまなリスクが潜む現代社会において、生命・財産を守っていくことを最優先すべきです。そこで、市の危機管理体制および機能、耐震化の促進や消防・救急体制の充実などさらに防災力を強化し、安全性を高めていきます。

#### ③医療の充実

昨年実施したアンケート調査では、市政の取り組みの中で、医療の充実が最も重要であるとの回答を得ました。地域医療の充実を目指し、地域の診療所や医師会などとの連携、さらには志太藤原医療圏内の公立病院間での連携を、これまでに強化していきます。また、地域医療再生の鍵とも言われる、高齢者の在宅医療・在宅療養につきまして

も、関係者が一丸となった取り組みの中で積極的に推進していきます。さらに、新市民病院建設に関わる基本構想を策定し、その結果を踏まえ、次のステップへスピード感を持って取り組んでいきます。

生活の在り様や価値観が多様化し、行政の舵取りが難しい時代になりましたが、常に市民の皆さまの幸福度・満足度の向上を念頭に置いて、市政運営にあたっていきます。「市民の手の中にこそ、市政がある」との思いを大切にしながら、市民の皆さまとともに歩んでいきます。

#### ①子ども・子育て支援



#### ②防災・減災



#### ③医療の充実



## 子どもを産み育てやすい環境の整備

こども館

- こども医療費助成費 4億77万円
- 子育て世帯臨時特例給付金給付事業 1億3,213万円
- 放課後児童クラブ運営事業(15クラブ) 8,660万円
- 地域子育て支援センター事業(公設3か所、民設7か所) 5,346万円
- 特定不妊治療費助成事業 2,725万円
- 六合東小・初倉小(設計)放課後児童クラブ施設整備事業 2,178万円



## 市民の安心安全を守る危機管理、防災体制の充実

消防自動車



- 島三小ほか7校の屋内運動場の耐震化事業 8,920万円
- 稲荷浄水場浄水施設耐震補強工事(平成27年度までの2カ年事業) 6,750万円
- 建築物等耐震性向上事業(専門家診断など) 5,130万円
- 川口地区、家山地区消防団消防自動車更新事業 3,737万円
- 急傾斜地崩壊対策事業(金谷本町南裏地区、川根町家山塩本地区ほか) 1,921万円
- 下流域の浸水防止のための犬ヶ沢水路改修事業 1,200万円

# 平成26年度の主要事業

## 産業振興と地域の活性化

切山地区の茶園

- 川根温泉宿泊施設建設事業(鉄筋コンクリート造4F、延床面積4,852.18㎡、定員152人、平成26年7月1日開業予定) 7億5,574万円
- 強い農業づくり交付金等事業(茶加工機械更新に対する補助金 吹木ほか2茶農協) 1億8,451万円
- 空港隣接地域農業振興事業 1億949万円
- 島田金谷IC周辺地区調査事業 2,854万円
- 八高山ハイキングコース整備事業 610万円



稲荷浄水場施設監視室



## 公共施設の老朽化対策

- 上水道施設監視制御設備更新工事 1億7,500万円
- 橋りょう長寿命化修繕・耐震事業 4,500万円
- 公園施設長寿命化対策事業(改修工事) 3,600万円
- 道路ストック総点検事業 1,860万円
- 新一般廃棄物最終処分場の候補地選定調査事業 838万円
- 公共施設マネジメントの方向性等基本方針の検討に係る事業費 363万円
- クリーンセンター長寿命化計画策定事業 361万円

## 都市基盤の整備

○東町御請線整備事業	6 億 4,549 万円
○谷口中河線改良事業	3 億 8,126 万円
○蓬萊橋線、石上日掛線、吹木線等生活道路改良事業	2 億 6,300 万円
○コミュニティバス運行管理経費（11 路線）	2 億 4,426 万円
○公園管理事業（ばらの丘公園の管理を含む）	9,943 万円
○横岡新田牛尾線改良事業	8,288 万円
○市営霊園整備事業（第2期田代霊園整備）	6,000 万円

コミュニティバス



## 教育環境・スポーツ施設の整備

学校給食



○学校給食共同調理場整備事業（平成 27 年 4 月稼働予定）	14 億 5,967 万円
○川根小学校改築事業（平成 27 年 8 月完成予定、平成 27 年度までの 2 カ年事業）	4 億 2,828 万円
●横井運動場公園サッカー場整備事業（人工芝化）	1 億 3,000 万円
○学校支援員等 68 人の配置	9,108 万円
○諏訪原城跡整備事業	5,883 万円

平成 26 年度当初予算に計上した主要事業について、市が重点的に取り組む 8 つのテーマに分けて紹介します（●は、平成 26 年度新規事業）。

## 広域行政の推進

○静岡地域消防救急広域化に向けた消防救急無線デジタル化整備事業	8,506 万円
○志太 3 市共同学校校務支援システムの整備事業	3,388 万円
○志太 3 市と川根本町での観光事業の実施	865 万円
○イルミネーション、イベント等共同広報事業ほか広域行政推進経費	279 万円
●東海道街道文化創造事業（藤枝市との連携による街道文化創造事業）	250 万円

川会所



ゆめ・みらい百人会議



## 市民本位の行政経営の推進

●広報効果・戦略プラン策定事業（今後の広報のあり方を検討するための広報効果の測定・分析）	363 万円
●議場放映システム整備事業	246 万円
○ゆめ・みらい百人会議運営経費	178 万円
●総合計画進行管理用市民アンケート経費	120 万円
●自治基本条例制定事業（市民・議会・行政それぞれが役割を認識した住民自治による協働のまちづくりの推進）	100 万円
●事業仕分け実施経費	97 万円

平成 26 年度

# 一般会計当初予算 372 億 1,100 万円

前年対比 10 億 2,300 万円 (2.8%) の増

## 市の会計の構成

島田市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計で構成されています。

一般会計は、まちづくりや福祉、産業経済、教育など市の全般的な事業を行うための会計です。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、事業の収支を明確にするため、一般会計と経理を区分しています。現在、国民健康保険事業など8つの特別会計を設けています。

企業会計は、事業収入により公共の利益を目的に経営する事業の会計で、現在、水道事業と病院事業に企業会計を設けています。

## 一般会計当初予算

### 【歳出】

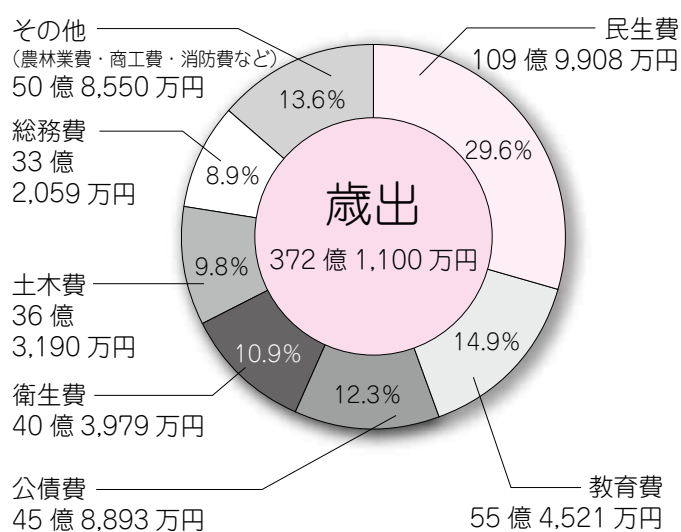
歳出の約3割を占める民生費については、社会保障にかかる経費の増加に加え、消費税率の引き上げを見据えて新たに実施する臨時福祉給付金給付事業などにより、前年度に比べ5億8,260万円(4.8%)の増額となっています。

また教育費は、学校給食共同調理場整備事業(14億5,967万円)、川根小学校改築事業(4億2,828万円)などにより、前年度比14億3,985万円(35.1%)の増額となっています。

## 会計別予算額

会計名	予算額	前年度対比
I 一般会計	372 億 1,100 万円	2.8%
II 特別会計	219 億 5,888 万円	6.8%
国民健康保険事業	107 億 4,967 万円	5.3%
簡易水道事業	2 億 2,374 万円	96.5%
土地取得事業	5 億 6,612 万円	7.7%
休日急患診療事業	1,477 万円	5.3%
公共下水道事業	9 億 3,092 万円	3.6%
介護保険事業	83 億 3,140 万円	7.9%
介護サービス事業	5,950 万円	△ 3.5%
後期高齢者医療事業	10 億 8,276 万円	6.8%
III 企業会計	193 億 6,435 万円	29.0%
水道事業	17 億 8,399 万円	21.3%
病院事業	175 億 8,036 万円	29.8%
合計	785 億 3,423 万円	9.4%

## 歳出の内訳 (構成比：%)



## 用語の解説

### 【歳出の部 (目的別分類)】

民生費／児童、高齢者、障害者福祉などの経費  
 教育費／学校教育や生涯学習などの経費  
 公債費／借入金(市債)の返済金と利子の支払い  
 衛生費／保健活動やごみ処理などの経費  
 土木費／道路、河川、公園、市営住宅の整備などの経費  
 総務費／電算システムや戸籍・住民登録、庁舎の維持管理などの経費

歳出の性質別構成比率

性質	区分	構成比率
消費的経費 62.8%	人件費	18.5%
	扶助費	16.6%
	物件費	16.0%
	補助費等	11.0%
	維持補修費	0.7%
投資的経費 16.6%	普通建設事業費	16.5%
	災害復旧事業費	0.1%
その他の経費 20.5%	公債費	12.3%
	繰出金	6.9%
	投資及び出資金等	1.3%
予備費 0.1%		0.1%

市民 1 人当たりの歳出予算は

およそ **36 万 7,074 円**

民生費：約 10 万 8,502 円 教育費：約 5 万 4,702 円  
公債費：約 4 万 5,268 円 衛生費：約 3 万 9,851 円  
土木費：約 3 万 5,827 円 総務費：約 3 万 2,756 円  
その他：約 5 万 167 円

※平成 26 年 2 月 28 日現在の人口 101,372 人で算出。



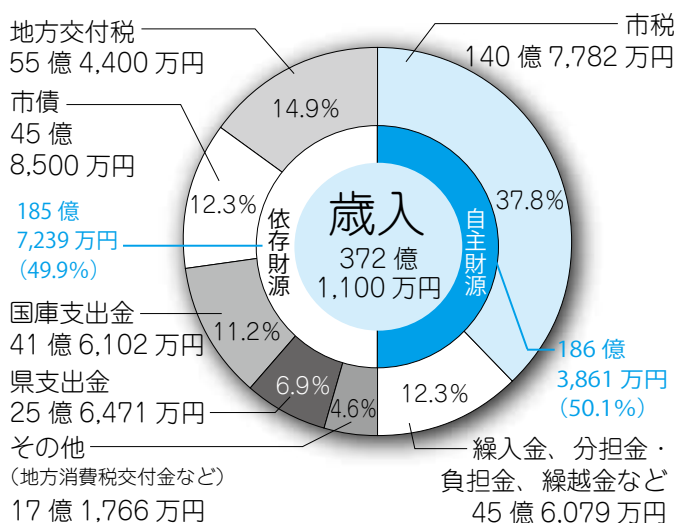
【歳入】

収入の主である自主財源の市税については、軽自動車税の制度改正による減収が見込まれるものの、個人・法人市民税が景気回復の影響を受ける見通しから、前年度に比べ 1 億 126 万 8 千円（2.1%）の増額を見込んでいます。  
依存財源については、地方交付税の 5600 万円（1.0%）の減額を見込んでいます。  
また、地方消費税の税率改定に伴う地方消費税交付金の収入は、1 億 5900 万円（16.0%）の増額を見込んでおり、この増額は、歳出の民生費のうちの社会保障費の財源としました。

市債年度末残見込額

区分	残高見込額		増減率
	平成 25 年度末	平成 26 年度末	
一般会計	431 億 1,467 万円	437 億 5,195 万円	1.5%
国民健康保険事業	1 億 6,000 万円	1 億 2,000 万円	△ 25.0%
簡易水道事業	2 億 2,064 万円	2 億 5,739 万円	△ 16.7%
公共下水道事業	43 億 3,451 万円	42 億 4,219 万円	△ 2.1%
水道事業	14 億 6,276 万円	14 億 9,470 万円	2.2%
病院事業	24 億 6,328 万円	21 億 3,508 万円	△ 13.3%
合計	517 億 5,586 万円	520 億 131 万円	0.5%

歳入の内訳（構成比：%）



その他の支出／議会費、労働費、農林業費、商工費、消防費、災害復旧費など

【歳出の部（性質別分類）】  
扶助費／生活扶助、教育扶助などの経費  
物件費／施設の保守管理、一般事務経費  
普通建設事業費／道路の新設改良や施設の新増築などの経費  
災害復旧事業費／台風などにより被害を受けた施設の復旧のための経費  
繰出金／一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など  
積立金／学校建設など特定の目的のための積み立て

【歳入の部】  
市税／市民税、固定資産税など市に納められた税金  
負担金・負担金／保育所入園者の負担金など  
繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金  
地方交付税／市町村の実状に合わせて国から交付されるもの  
市債／市が借り入れるお金  
国庫（県）支出金／国（県）からの補助金、負担金など  
自主財源／市が独自に収入するもの  
依存財源／国・県などから交付されるもの